HERE'S THE SOLUTION

OKAYA KIDEN

50th

COMPANY HISTORY

HERE'S THE SOLUTION

OKAYA KIDEN

50年のあゆみ

ごあいさつ

Message

このたび、創業50周年の節目を迎えたことを機に、
会社設立から今日に至るまで、私たちが歩んできた足跡を
まとめた社史を発刊することになりました。

ここまで事業を継続することができたのは、
地域の皆様、取引先の企業様、株主の岡谷鋼機様をはじめ、
当社に関わり、当社を支えてくださった皆様方のおかげです。
この場を借りて改めて感謝申し上げます。
また、OB・現役を含め、すべての社員が積み重ねてきた
日々の努力にも敬意を表します。

社史にも記述している通り、
当社が今日までにたどってきた道のりは決して平坦なものではありません。
バブル経済の崩壊、リーマンショックによる世界的な経済危機、
今なお続くコロナ禍によるサプライチェーンの混乱…
さまざまな困難が、幾度となく私たちの前に立ちふさがりました。
それを乗り越えることができたのは、
私たちに揺るぎない信念があったからです。

その信念とは、パートナーとしてお客様に常に寄り添うこと。
いかなる時もお客様の立場になり、
課題解決に繋がる商品・サービス・情報を提供し続けてきたからこそ、
大きな信用を勝ち取ることができたのだと自負しています。

社史の編纂で再確認することができた当社の強みを生かし、
次の100年に向けてさらなる精進を続けてまいる所存です。
今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

取締役社長　布目 和也



※撮影時のみマスクを外しておりますが、感染症拡大対策を徹底の上マスク着用のもと座談会を行っております。

何事にも挑戦する企業文化を醸成し次の100年に繋げたい

顧客の信頼を勝ち取り、50年の歴史を紡いできた岡谷機電。
布目和也社長は、変化を恐れず、前向きにチャレンジする企業文化を育て、
次の世代へとバトンタッチしたいと熱く語ってくれました。

岡谷機電株式会社 取締役社長
布目 和也

Profile



岡谷機電株式会社　取締役社長
布目 和也
Kazuya Nunome

社歴

平成06年	岡谷鋼機入社 名古屋本店エレクトロニクス部電機システム室
平成11年	香港岡谷鋼機 出向
平成19年	名古屋本店エレクトロニクス部電子デバイス室
平成25年	名古屋本店エレクトロニクス部電機システム室長
平成29年	5月 岡谷機電 社長就任

Q01. 社長がこの業界に入ったきっかけを教えてください。

A. 自分を成長させてくれる場所だから

大学を卒業して岡谷機電の親会社である岡谷鋼機へ入社しました。もともと工業系の大学で電気について専攻していましたが、研究職は向いていないと思い、就職活動をすることに。
たまたま大学のサークルで1つ上の先輩が岡谷鋼機で働いていたので、どんな企業かを聞き、扱う商材の幅が広く懐の深さを知り、商社に興味を持ちました。商社は人対人の商売だと感じ、自分自身を成長させることができると思い、飛び込んでみることにしました。

Q02. この仕事の魅力は何でしょうか。

A. お客様の課題を解決に導くことがやりがい

当社が目指すのは「技術商社」。単純にモノを売って終わりではありません。最適な技術・商品・サービスを提供することによって、お客様の抱える課題を解決に導くことが大きな目的です。今後、技術のさらなる進歩に伴って、私たちの仕事の幅は広がりを見せることでしょう。提案する内容はより複雑になることが予想されますが、あれこれと考えながら楽しく仕事ができるやりがいのある魅力的な職場だと感じています。

Q03. 現場では楽しいばかりではなく、苦い経験もされてきたと思います…

A. 仕入れ先と販売先の間に挟まれ、サンドバッグになるのはいつもの事…

私たちの役割は、仕入れ先となる産業用電機品を製造するメーカーと、ものつくりをされる販売先とを繋ぐこと。それぞれの間に挟まれて、苦しい思いをした経験はよくあります。今でも忘れられませんが、香港駐在時代に販売先の日系企業で仕入れ先の中国のメーカ品の品質問題が発生し、市場にも出てしまっていて半年以上その対応に追われ大変苦労しました。其々国が違い文化（考え方）が違いますから…

Q04. それでも辞めずに続けてこられた理由は何ですか？

A. 苦労した先に喜びが待っている

逃げ出さずに続けていれば、たまにはいいことがあったからです。お客様から「ありがとう。あなたがいてくれて助かった」という感謝の言葉をかけられた時は、本当にこの仕事やっていて本当によかったと思いました。また、難しい仕事をやってのけることができた時の達成感もいまだに忘れることはできません。間違いなく、仕事へのモチベーションを上げる、よい思い出となっています。

Q05. 社長業のやりがいを教えてください。

A. やりがいがある分、大きなプレッシャーも

会社の将来を考え、あれこれ変えていこうとする事はやりがいがありますが、思うようにいかない事も多いです。社員とその家族の生活もかかっており、会社をよい方向へしっかりと導かねばなりません。

Q06. 反対に社長業の大変なところを教えてください。

A. 最終的な責任を背負っている

普段の業務は社員たちが頑張ってくれているので、私にあまり出番はありません。私に出番が回ってくるのは、何か問題が発生した時か、何かを決める時が主です。重責ですが、誰かが責任を取らなければなりません。組織のトップに立つ者の責務として覚悟を持って仕事に臨んでいます。

Q07. 社員と仕事をする中で最も大切にしていることは何ですか？

A. コミュニケーションを大切に

当社の良さのひとつが、役職に関係なく社員同士が円滑にコミュニケーションを取れることだと思っています。私も社員に積極的に声をかけるように心掛けていますし、反対に社員も私とコミュニケーションを取ろうとしてくれています。こうやって人の輪ができることによって、組織力が強くなっていくのではないでしょうか。円滑なコミュニケーションを通じて、社員全員が同じ方向を向いて一致団結できるような組織を作り上げたいと思っています。

Q08. 次の100年という節目に向けて大切にしたいことは何ですか？

A. お客様の役に立つ企業であり続けること

当社が50周年の節目を迎えられたのは、創業以来ずっとお客様の役に立ち続けることができたから。その姿勢がお客様の当社に対する信用・信頼に繋がったのだと自負しています。めまぐるしく時代が変化をする中で、私たちが提供するモノ・コト・サービスには変化が生じます。お客様のお役に立つという思いだけは変えることなく大切にしたいと考えています。

President Interview



Q09. 世の中の変化に合わせて、岡谷機電も変わるべきだと思いますか。

A. 新しいことにチャレンジする企業へ

絶対に変えてはならないベースは守りつつ、提供する商品やサービス、働き方など、変化すべきことは世の中の状況に合わせて変えていくべきだと私は思っています。旧態依然とした古い慣習にとらわれるより、新しいことを始めた方が絶対に楽しいと思いませんか。最近は「サステナブル（持続可能）」という言葉をよく耳にします。岡谷機電を次の世代へ繋げ持続可能な成長の為に、変化を恐れず、何事にも積極的にチャレンジする姿勢こそが何より大切だと考えています。

Q10. 次の世代にどのようなことを残していきたいと考えていますか？

A. 岡谷機電をさらに大きな会社へ

変化を恐れず、新しいことに積極的にチャレンジをする社風を築きたいと考え、取り組んでいます。種を蒔き、まだまだ蕾になるかどうかですが、早く花を咲かせられるようにしたいです。次世代のメンバーたちには、それをさらに大きく、又、時代とともに変化させてもらいたいと願っています。

Q11. いい仕事をしているかどうかの判断はどうやってすればよいですか？

A. いい仕事とはお客様の役に立つこと

「お客様の役に立てているかどうか」という基準で見ると、分かりやすいのでは。取引先に価値を提供し、感謝され、頼られ、期待されれば結果もついてきて、「いい仕事をしている」と言えると思います。反対に役に立っていないと判断されたら、恐らく取引を停止し、他社との取引を始めてしまうことでしょう。選択肢（同業者）は他にもありますから。社員ひとりひとりが、お客様の役に立つため「いい仕事をしよう」と心掛けている会社は「いい会社」になるのではないかと思います。

Q12. 岡谷機電が他社より優れていることは何でしょうか？

A. 顧客に寄り添い、一緒に課題解決できること

岡谷グループの信用とお客様のニーズに応え、お役に立てているということに尽きるのではないでしょうか。当社の顧客には長くお付き合いを続けている企業が多数あります。お客様の抱える課題を解決するため、お客様に寄り添い、ともに悩み、有効な対策を提案し、課題克服の一助になってきたことが、評価されているのではないかと自負しています。この良さを失うことがないように努力を続けていく所存です。

Q13. 働く人の側から見た岡谷機電の魅力は何だと思いますか？

A. 真面目な社員が多く、働きやすい

言いたいことが言い易く、チャレンジできる会社だと思います。社員からは、会社に将来性があり、人としての成長も期待できる職場だと思ってもらえているのではないでしょうか。トップとして、とても誇らしく思います。私は役職に関係なく社員たちともざっくばらんにコミュニケーションを取るように心掛けていますが、コツコツと真面目に仕事に取り組み、実績を積み上げていく努力家タイプが多いという印象です。環境の整った働きやすい会社であることが何よりの魅力だと思います。

Q14. 最後に今後の抱負をお聞かせください。

A. 常に前向きに、新しいことにチャレンジを

これからの時代は、今まで以上に変化が激しくなると思います。そうした変化に機敏に対応するため、主体的に考え、常にアンテナを張り巡らせ、変化に迅速に対応できるような組織や人を育てることが、社長としての私のミッション。そのためにも、変化を恐れず、いつも前向きで、何事にも積極的にチャレンジをする職場文化を醸成し、次の世代に繋げていきます。まずは、こうやって話している私自身が、新しいことにどんどんチャレンジしていくつもりです。







HERE'S THE SOLUTION
OKAYA KIDEN

Thank you for reading!

会社の歴史を知ることは新たな発見の連続でした

社史編纂プロジェクトのリーダーを務めた濱島茂光常務。
５０年の歴史をまとめていく作業は苦労の連続でしたが、
先人たちの思いに触れる貴重な機会になったと振り返りました。

50年誌編集委員会　委員長　常務取締役

濱島 茂光



※撮影時のみマスクを外しておりますが、感染症拡大対策を徹底の上マスク着用のもと座談会を行っております。

Q01. 今回社史を制作するにあたって苦労したことはありましたか。

A. 創業当時の写真や資料を集めるのに苦労しました。

その気になればすぐに作れると思っていましたが、いざ始めてみると、想定以上に時間がかかり、結局１年以上もの時間を費やすことになってしまいました。特に苦労したのは創業当時の資料集めです。他社の社史を見ると、社屋や社員など創業当時の様子をうかがい知ることができる写真が必ずと言っていいほど掲載されていますよね。ところが当社の場合、創業時の社屋の写真はもちろん、メンバーの写真ですら、どこを探しても見つかりません。親会社にも確認しましたが、創業時の資料はありませんでした。それならばとOBを訪ねて話を聞いてみましたが、みなさん記憶が曖昧で創業から数年間の業績等は分からずじまい。写真も残っていませんでした。

Q02. 今回社史を編纂したことで新たに発見したことを教えてください。

A. 創業当時に在籍した先輩社員の苦労を知りました。

当社は三菱電機の産業用電機品を販売する商社ですが、上司や先輩から「創業当時は家電や電動工具を取り扱っていた」という話を聞いたことがあります。その時は「そんなこともあったのか」という程度の認識でした。しかし、今回改めて取材をしたところ、外的要因等で、否応なく取扱品目がかわり、「売ったこともなく、売り先も分からないものを、ある日突然売ることになった」という話を初めて知りました。まさにドラマのような話。創業当時の社員は、私たちとは比較にならないほどの相当な苦労をしたに違いないということも思い知らされました。苦労して会社の礎を築いた先輩方に感謝したいと思います。

Q03. 後任者(次期社史編纂委員)のためにやっておいた方が良いことはありますか？

A. 未来の岡谷機電へのメッセージとして、記録はこまめにデータベースへ。

社史の編纂とは、まさに「温故知新」。単に昔を振り返るだけではなく、新しい知見を得るためにも大切なことだと痛感させられました。次回、社史を発行するのは３０年後になるのか、５０年後になるのか分かりませんが、ぜひ作ってほしいと思います。今回の編纂作業を通じて、その時々に起きたトピックスを記録しておけるデータベースを作成しました。年に１回で良いので、今の会社に起こったことを、面倒くさがらずに更新していってほしいと思っています。これは未来の岡谷機電を支える、まだ見ぬ社員たちに送るもの。岡谷機電が未来永劫続くための大切なメッセージになるはずです。

Profile



常務取締役
濱島 茂光
Shigemitsu Hamajima

1989年入社

社歴		
	平成元年	入社（豊田営業所配属）
	平成19年	取締役三河営業部長
	平成25年	現職

Q04. 社史を通して社員に伝えたいことはなんですか？

A. 苦労して会社の礎を築いた先輩方の思いを引き継いでほしいです。

今回の社史編纂を通じて、多くの OB と話をする機会をいただきました。OB から決まって耳にしたのは「あの取引先はどうなっているの？」という質問です。取引金額が以前より大きくなっている企業を担当していた OB は「よく頑張って育ててくれた」と喜んでくれました。その様子を見て、苦労して顧客を拡大してきた先人たちの思いを引き継ぐことの大切さが分かったような気がします。私たち商社の仕事は単にモノを売ってそれで終わりではありません。そこに付加価値を付け、お客様とより深い関係を築いていくことが何より大切なことではないでしょうか。社史の発行を機に、若手社員たちには「今お付き合いいただいているお客様とは、どのような経緯をたどって取引を開始するに至ったのか」というバックボーンをきちんと理解をした上で仕事に臨むことが、お客様にとってはもちろん、私たちにとっても意味のあることだということを伝えていきたいと思います。

後輩の皆さんへメッセージ

入社当時、既に三菱電機の産業用電機品は製品力が高く業界トップシェアで売り易い商材だった為、多少苦労はしたものの今思えば『売れていた』というところもあったように思います。
数年後、某自動車メーカーの指名活動に取り組み、海外まで PR に行ったりそのユーザー向けの製品を三菱電機に開発してもらうことによりスペックインに成功し、初めて大きな喜びを感じその後のモチベーションにもなりました。
後輩の皆さんにも、仕事を通じて喜びや自身の成長を少しでも多く感じてもらいたい。
また創業時から伝わる『顧客に寄り添い、失敗を恐れずチャレンジ』することで会社を益々発展させ、更に次の世代へとバトンを繋げて欲しいと思います。

Postscript Interview







HERE'S THE SOLUTION
OKAYA KIDEN

Thank you for reading!

OKAYA KIDEN HISTORY

岡谷機電株式会社 創立50年のあゆみ 50年史年表

歴史と出会い
今につながり
岡谷と未来に生きる

人と技術を
未来へつなぐ



1970年 [昭和45年]
6月25日　資本金10百万円にて創業
本社及び豊田営業所にて
事業開始

1973年 [昭和48年]
9月　岡谷鋼機100%出資の
完全子会社化

1986年 [昭和61年]
6月　本社を現在の東海ビルに移転

1987年 [昭和62年]
4月　刈谷営業所 開設

1990年 [平成2年]
1月　資本金50百万円に増資

1994年 [平成6年]
創立25周年を迎える

1995年 [平成7年]
7月　社名を東海機電から
岡谷機電に変更

2002年 [平成14年]
6月　環境マネジメントシステム
取得（ISO14001）

2014年 [平成26年]
10月　千葉営業所 開設

2015年 [平成27年]
3月　三河営業部分室 開設
11月　静岡営業所 開設

2018年 [平成30年]
2月　豊橋営業所 開設

2020年 [令和2年]
創立50周年を迎える

2021年 [令和3年]
1月　三重営業所開設
12月　品質マネジメントシステム取得
(ISO 9001)

第 1 期

1970

昭和 45年 06月 25日

- **資本金10百万円にて創業**
  - 本社：名古屋市中村区水主町1-27
- **豊田営業所を開設する**
  - 豊田市衣ヶ原 3-31(菱栄工機内)
    出資：岡谷鋼機 60%、菱栄工機 40%

業界TOPICS

三菱電機／放電加工機DM-5000型完成
（世界最大級）

昭和45年のNEWS

03月　大阪万博
03月　新日本製鐵誕生

第 4 期

1973

昭和 48年 09月

- **岡谷鋼機100%出資の完全子会社となる**

昭和48年のNEWS

02月　変動為替相場制に移行
10月　第1次オイルショック

第13期

1982

昭和 57年

- **資本金20百万円に増資する**
  - 出資：岡谷鋼機全額出資

昭和57年のNEWS

04月　フォークランド紛争
04月　500円硬貨発行
06月　東北・上越新幹線開通
12月　テレホンカード開始

第14期

1983

昭和 58年 06月

- **関西営業所を開設する**
  - 関西岡谷管機材内
    上水、下水処理場等の公共設備向け
    重電製品の拡販活動を開始する

昭和58年のNEWS

04月　米レーガン大統領来日
05月　日本海中部地震
11月　東京ディズニーランド開園

第15期

1984

昭和 59年 04月

- **豊田営業所を移転する**
  - 所在地：豊田市小坂本町

業界TOPICS

シーケンサ・インバータ飛躍期到来

昭和59年のNEWS

03月　グリコ・森永事件
05月　衛星放送開始
06月　第二電電／設立
07月　ロサンゼルスオリンピック
12月　新1万円、5千円、千円札

第17期

1986

昭和 61年 04月

- **東京駐在事務所を開設する**
  - 岡谷鋼機東京本店内

昭和 61年 06月

- **本社を現在の東海ビルに移転する**
  - 所在地：名古屋市中村区名駅南1-16-30
    本社、豊田営業所間のオンラインを開始する

昭和61年のNEWS

01月　スペースシャトル爆発事故
04月　チェルノブイリ原発事故
04月　男女雇用機会均等法施行
11月　伊豆大島／三原山噴火

業界TOPICS

インテリジェントビル到来

第18期

1987

昭和62年のNEWS

04月　国鉄／分割民営化
07月　NHK衛星放送開始
10月　NY市場／株暴落

業界TOPICS

三菱電機シーケンサAシリーズ発売

昭和 62年 04月

- 刈谷営業所を開設する
  - 所在地：刈谷市相生町3-3　冨士ビルディング3F

昭和 62年 11月

- 刈谷営業所を移転する
  - 所在地：刈谷市原崎町4-11-15
    （岡谷鋼機株式会社　刈谷支店倉庫内）
- 決算月を3月→2月へ変更する

第19期

1989

平成01年のNEWS

01月　昭和天皇崩御
04月　消費税導入
06月　中国天安門事件
12月　日経平均最高を記録
38,915円

平成 01年

- 創立20周年記念行事を開催する
  - 海外社員旅行：香港

第20期

1990

業界TOPICS

平成03年　映像はハイビジョン時代に

平成05年のNEWS

05月　サッカーJリーグ開幕
11月　欧州連合条約発効
12月　法隆寺、屋久島等／世界遺産

平成 05年 03月

- 東京駐在事務所を廃止する

第21期

1993

平成 02年

- 資本金50百万円に増資する
  - 出資：岡谷鋼機全額出資

平成 03年 01月

- 本社事務所を移転する
  - 所在地：東海ビル4階から6階

業界TOPICS

省人化、省エネルギー時代に

平成02年のNEWS

01月　大学入試センター試験開始
04月　大阪府／花と緑の博覧会
10月　東西ドイツ統合

第24期

1994

業界TOPICS

平成10年　三菱電機
物流拠点を小牧より祖父江に移転する

平成07年のNEWS

01月　阪神淡路大震災
03月　地下鉄サリン事件
07月　PL法施行
11月　野茂が大リーグで活躍／新人王

平成 07年 07月

- 社名を東海機電から
  岡谷機電に変更する

第25期

1995

平成 06年

- 創立25周年を迎える

平成 06年 12月

- 関西営業所を廃止し
  岡谷鋼機大阪店に駐在とする

平成06年のNEWS

01月　カリフォルニアで大地震
09月　関西空港開港

第26期

1996

平成11年のNEWS

01月　ユーロ通貨誕生
02月　NTTドコモ／iモード開始

平成 11年

- 創立30周年を迎える

平成 11年 08月

- 配送センターを移転する
  - 所在地：中川区舟戸町

平成 11年 09月

- 豊田営業所の社屋を新築し移転する
  - 所在地：豊田市美山町、828.38平米、
    東海岡谷機材株式会社と共同所有

平成 08年 10月

- 刈谷営業所を移転する
  - 所在地：岡谷鋼機株式会社　刈谷支店事務所棟3F

平成 08年 04月

- 三菱プレシジョン株式会社と特約店契約を締結する
  - 駐車場管制システムを販売する

平成 08年 10月

- 冷熱事業より撤退し
  三菱電機冷熱設備(株)に商権移管する

平成08年のNEWS

04月　東京三菱銀行誕生
07月　O-157が全国で発生
12月　ペルー日本大使公邸ゲリラ事件

第27期

1999

平成16年のNEWS

01月　鳥インフルエンザ広がる
04月　トヨタ自動車／純利益1兆円
11月　1万円ほか新札発行
12月　中越地震

平成 16年

- **創立35周年を迎え記念行事を行う**

平成 16年 03月

- **岡谷大阪駐在員を廃止する**
  - 開発プロジェクトを廃止する

第35期

2002 04

第33期

平成 14年 04月

- **三菱電機社会システム部、三菱プレシジョンと代理店契約を締結する**

平成 14年 06月

- **環境マネジメントシステムを取得する（ISO14001）**

平成14年のNEWS

05月　日韓共催サッカーW杯
09月　日朝首脳会談
10月　北朝鮮拉致被害者5人帰国

平成18年のNEWS

01月　ライブドアショック／株低迷
10月　北朝鮮核実験

第37期

2005 06

第36期

平成 17年 6月

- **新人事制度を導入する**

平成 17年 10月

- **販売管理システム再構築**
  - アウトソーシング型に移行

平成17年のNEWS

03月　愛知万博開催
09月　郵政民営化法案可決

業界TOPICS

テレビは大型液晶化時代に入る

平成 21年

- **創立40周年を迎える**

平成 21年 06月

- **エコ・プロジェクトを発足**
  - 環境ビジネスへの取組強化

平成 21年 10月

- **コグネックス株式会社と代理店契約を締結する**
  - ビジョンセンサーの販売開始

平成 21年 11月

- **シーシーエス株式会社と販売店契約を締結する**
  - ビジョンセンサー用LED照明の販売開始

平成21年のNEWS

01月　バラク・オバマ大統領 就任
04月　新型インフルエンザ世界的に流行
05月　裁判員制度スタート
06月　米GM／経営破たん
08月　政権交代／民主党圧勝

第40期

2008 09

第39期

平成 20年

- **中期計画LP-2010を策定する**

平成 20年 04月

- **株式会社山武（現株式会社アズビル）と特販店契約を締結する**

平成20年のNEWS

07月　洞爺湖サミット
08月　北京オリンピック
09月　リーマンブラザーズ破たん

第43期

2012

平成 24年 11月

- **Sプロジェクトを発足する**
  - 太陽光発電ビジネスに注力する

平成 24年 09月

- **東芝三菱電機産業システム株式会社と代理店契約を締結する**
  - 太陽光発電用パワーコンディショナー等の販売開始

平成24年のNEWS

05月　東京スカイツリー開業
07月　ロンドンオリンピック
12月　自民党圧勝、政権復帰
通年　竹島、尖閣諸島／領有権問題

Okayakiden's History

2020 50th Anniversary

第45期 2014

平成 26年 05月

- **新販売管理システム稼働**
- **クラウド化対応**

平成 26年 10月

- **千葉営業所を開設する**
  所在地：千葉市中央区新宿

平成26年のNEWS

02月　ソチ五輪／聖火台と花火
03月　プロ棋士と対戦するロボット
12月　はやぶさ2／はやぶさ2打ち上げ
　　小惑星探査機「はやぶさ2」を搭載し、
　　打ち上げられるH2Aロケット26号機

第46期 2015

平成 27年 03月

- **三河営業部分室を開設する**
  所在地：豊田市東新町(岡谷鋼機豊田支店内)

平成 27年 04月

- **千葉営業所 三菱電機直扱店として、本機営取引開始**
  関東エリアでの三菱機器拡販

平成 27年 11月

- **静岡営業所を開設する**
  所在地：静岡市葵区横田町

平成27年のNEWS

02月　東京市場／日経平均が14年10カ月ぶり高値
04月　初代アップルウオッチ

第48期 2017

平成 29年 04月

- **三菱電機中部支社と当社単独契約にて機器代理店契約を締結する**
- **千葉営業所　準代理店に昇格**

平成 29年 05月

- **健康宣言チャレンジ事業所に認定**

平成 29年 12月

- **千葉営業所を移転する**
  所在地：千葉県中央区新田町

平成29年のNEWS

01月　トランプ米大統領が就任
03月　英国がEU離脱を正式通知

第49期 2018

平成 30年 07月

- **office365を導入する**

平成 30年 09月

- **本社ラボルームを開設する**

平成 30年 01月

- **配送センターの社屋を新築し移転する**
  所在地：中川区大畑町

平成 30年 02月

- **豊橋営業所を開設する**
  所在地：豊橋市向山大池町

平成30年のNEWS

05月　プーチン露大統領 通算4期目就任
06月　史上初の米朝首脳会談
06月　「18歳成人」改正民法成立
09月　大坂なおみが全米オープン優勝

第51期 2020

令和02年

- **創立50周年を迎える**

令和02年 04月

- **千葉営業所　代理店に昇格**

令和02年 11月

- **健康宣言**
  社員とその家族の健康増進に積極的に取り組む

令和03年 01月

- **三重営業所を開設する**
  所在地：四日市市鵜の森

令和02年のNEWS

02月　新型コロナウイルス
　　世界各地に広がる
04月　新型コロナで緊急事態宣言
05月　夏の甲子園中止
　　コロナ禍で戦後初

岡谷機電の50年間のあゆみをお読みいただきありがとうございました。この年表には、50年ものあいだで移り変わりゆく世界情勢に適応すべく、業態を変え、拠点を変え、試行錯誤の末に新たな繋がりを結んできた諸先輩方の様々な苦悩と挑戦の進化的軌跡が詰まっています。このように、強く引き継がれてきた岡谷機電の魂は変わることなく、今の岡谷機電の重要な原動力となっております。未来永劫の発展と共に、この社史に込めた想いが次世代へと受け継がれることを願っています。

The history of Okayakiden will continue ...

＼ 50周年記念 特設WEBサイト公開中！ ／

岡谷機電株式会社50周年社史記念WEBサイト
https://www.kiden.okaya.co.jp/company/history.html

岡谷機電株式会社
50周年社史

Okayakiden 50th History

2022年6月1日　第1版 第1刷発行

著　者　岡谷機電株式会社

発行者　岡谷機電株式会社 50周年社史編纂委員会

発行所　岡谷機電株式会社

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目16番30号（東海ビル）
電 話　(052)586-2577(代)
FAX　(052)583-8495
WEB　https://www.kiden.okaya.co.jp

協　力　岡谷機電株式会社 従業員のみなさま
岡谷機電株式会社 元社員のみなさま
岡谷機電株式会社 豊田営業所
刈谷営業所
豊橋営業所
三重営業所
三河営業部分室
千葉営業所
静岡営業所
中川配送センター

本書の無断転載/複製/複写は著作権法上での例外を除き法律で罰せられます。
複製される場合はその都度事前に岡谷機電株式会社の許諾を得てください。
本書に関するお問合せは【50周年社史編纂委員会】までご連絡ください。

HERE'S THE SOLUTION
OKAYA KIDEN

HERE'S THE SOLUTION

OKAYA KIDEN